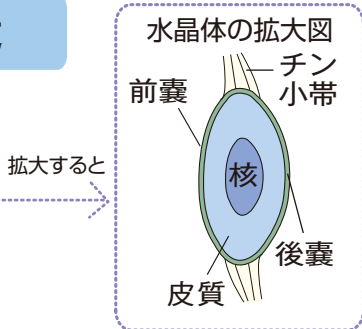
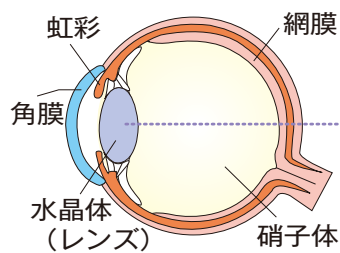


# 久里浜眼科 Vol.33 最近5年の白内障手術の進歩

## 眼球の基本構造



### ■白内障とは？

水晶体はチン小帯で支えられた状態にあり、水晶体嚢と呼ばれる袋状のものに固い核と柔らかい皮質が包まれています。水晶体嚢の前面を前嚢と呼び後面を後嚢と呼びます。水晶体が混濁した状態が白内障です。

## 現在主流の手術「超音波乳化吸引+IOL挿入術」

現在主流の白内障の手術法は、「超音波乳化吸引+IOL挿入術」です。水晶体核を超音波で乳化して摘出。①日帰り手術ができる ②3mm以下の小切開で済む ③無縫合で行えるという点が特徴で、IOL(嚢内固定)の為偏位しづらく、安定します。



白内障の手術は技術の進歩により安全で患者さんのストレスも少ない手術になってきました。それに伴い「ただ濁りを取り、眼内レンズを入れ、見づらい場合はメガネで矯正する」という発想から「手術後、メガネをどのように使うか」

例えば…

- 日常生活はメガネなしで過ごし、読書の時だけ老眼鏡を使う
- 普段はメガネをかけて、読書の時はメガネをしないで生活したい
- メガネは嫌だから、全くメガネをかけずに生活したい…など

これからの人生設計に合わせて、計画的に手術・眼内レンズの選択をするようになりました。つまり、白内障手術で、水晶体の濁りを取り、透明なレンズに入れかえるだけでなく、同時に、近視・遠視・乱視・老視を治し、メガネをなるべくかけないで生活する(裸眼視力をよくする)手術になりました。

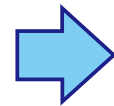
## 測定機械の進歩

眼内レンズは、角膜の形、眼軸で大体決まります。

眼軸を測定する機械が超音波から光に変わったことにより、正確に測定でき、手術による遠視・近視の矯正が、誤差が少なく決めることができるようになりました。



超音波眼軸測定



光による眼軸測定

## 手術機械の進歩

以前は3ミリの切開が基本でしたが、2.4ミリ前後に切開幅が小さくなりました。

このため、手術のために起こる乱視が問題なくなり、乱視を治すことが計画的にできるようになりました。

## 眼内レンズ(IOL)の進歩

非球面、着色、ワンピースは標準となり、遠視・近視は治せました。新たに、乱視を治す眼内レンズが出て、乱視を同時に治すことができるようになりました。



(ワンピース、非球面、着色IOL)



(乱視矯正IOL)

老眼は多焦点レンズが以前からありました。これは遠視・近視・老眼を一つのレンズで治しますが、乱視を治すレンズはありませんでした。数年前から、乱視も同時に治すレンズが出てきました。



(遠近両用IOL)



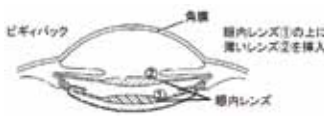
(遠近両用・乱視矯正IOL)

## その他

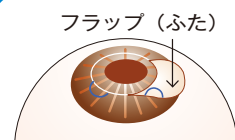
以上のように進歩しても、目標の度数から少しずれて、近視・遠視・乱視が残ることがあります。「もう少し遠くをメガネなしでしっかり見たい」とか、「もう少し近くをメガネなしで見たい」、「少し乱視が残って見にくい」などの症状があります。

この場合、エキシマレーザーで乱視・遠視・近視を治します。→レーシック

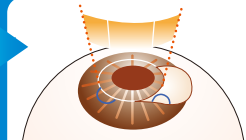
レーシック以外では、レンズ入れかえ、薄い眼内レンズ挿入(ピギバック)などを行います。



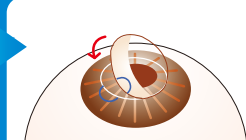
## レーシック(LASIK)の手術手順



1 点眼麻酔をし、マイクロケラトーム(精密なカンナのような器械)でフラップ(ふた)を作成します(0.1mm前後)



2 レーザーを照射します(最大0.1mm) <0.6μ(=0.006mm)単位で>



3 レーザーを照射後、フラップ(ふた)を元の位置に戻して手術は終了です

# 久里浜眼科

☎046-833-0057

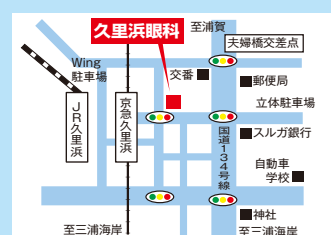
<予約専用電話 ☎046-835-8602>

[受付時間 午前9:00～午後6:15]

http://www.kurihama-ganka.com/  
横須賀市久里浜4-8-16(まんようクリニックビル)

■診療時間 ■休診日/日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:15	●	●	●	●	●
午後	2:30~6:15	●	●	●	●	●



- 京急久里浜駅よりすぐ
- JR久里浜駅徒歩1分